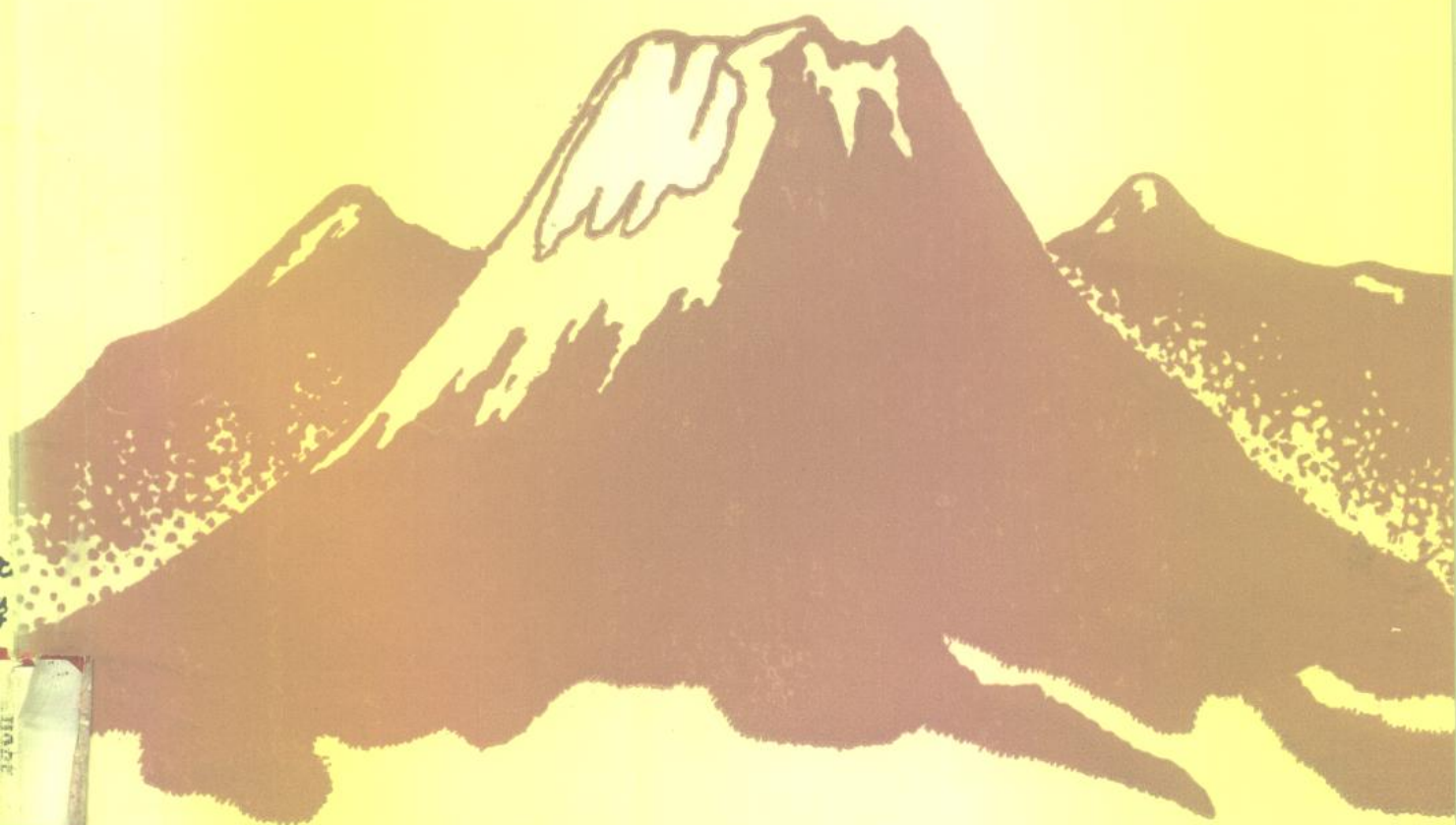


最新实用日本语系列丛书

实用日本语作文集

贾福生 编著



化学工业出版社

283994

最新实用日本語系列丛书

实用日本語作文集

贾福生 编著

化学工业出版社

• 北京 •

(京)新登字 039 号

图书在版编目(CIP)数据

实用日语作文集/贾福生编著. — 北京: 化学工业出版社, 1995.9

(最新实用日语丛书)

ISBN 7-5025-1580-1

I. 实… II. 贾… III. ①日语-写作-基本知识 ②日语-作文-选集 IV. H365

中国版本图书馆 CIP 数据核字(95)第 14023 号

出版发行: 化学工业出版社

(北京朝阳区惠新里3号 邮编 100029)

社长 李培宗 总编辑 蔡剑秋

经 销: 新华书店北京发行所

印 刷: 北京市百隆印刷厂

装 订: 北京市百隆印刷厂

版 次: 1995年9月第1版

印 次: 1995年9月第1次印刷

开 本: 787×1092 1/16

印 张: 7 1/4

字 数: 125千字

印 数: 1-3000

定 价: 10.00元

前言

本集是以中级或中级以上的日语学习者对象而编辑的。其目的在于提高读者和学生的日语口语的表现能力以及日语的写作水平，学习标准的、优美的现代日语。

本书内容生动、题材广泛、语言优美，实用性和可读性很强。

此作文集可作为国内大学日语考试、研究生的日语入学考试以及赴日留学、研修和就职人员日语学习的一本非常好的参考书和培训教材。

本集由两部分构成。

I. 介绍原稿用纸的使用方法、日语作文的书写格式、日语标点符号的使用以及如何进行文章的修改。

II. 由45篇现代日本人生活为题材的作文构成45课。每一篇作文以一个话题为中心，其内容包括课文词汇、语法句型练习、问题及作文篇和应用文篇。除此之外，还向广大读者和学生介绍怎样写日记、书信、贺年片及礼仪问候等知识。

通过大量内容丰富、语言流畅、生动活泼的作文实例的学习，使广大日语读者和学生能运用自如地掌握日语的写作方法、提高写作能力。

需要说明的是，本作文集选用了一些国家和地区研究生的作文实例，为忠实于原文，其文中表达的所在国或地区大多未加注示。

此作文集如能为您提供一定的参考价值、使您在中日友好的交往中发挥出应有的作用的话，笔者将不胜欣慰！

编者

1995年5月

目 录

I. 予備知識——原稿用紙の使い方	1
II. 45のトピック（話題）	9~109
1. 自己紹介	9
2. 電車の中	12
3. 私のアパート	15
4. 私の国	18
5. 家から学校まで	20
6. 私の友だち	22
7. 私の仕事	24
8. 私の一週間	26
9. おたん生日	29
10. 日本語の授業	32
11. 私の住んでいる町	34
12. 私の家族	36
13. 私の一日	39
14. 趣味	42
15. ペット	44
16. 課外授業	46
17. 日本での食生活	48
18. 母の日	50
19. 高校生活	52
20. お風呂屋さん	54
21. スポーツ	56
22. 私の国の季節	58
23. 日本に来て驚いたこと	60
24. 病気	62
25. なぜ日本語を勉強するか	64
26. 友だちと会って	66
27. 東京の生活	68
28. 映画	70
29. 私の国の教育	72
30. お祭り	74
31. 私の夏休み	76
32. 師走（いそがしい月）	78
33. お正月	80
34. 結婚式	82
35. 日本での旅行	84
36. 各国の交通機関	86
37. 買物	88
38. 将来の計画	91
39. もし1000万円あたったら	94
40. 日記	96
41. 手紙1（友だちへ）	99
42. 手紙2（恩師／先生へ）	101
43. 年賀状・暑中見舞・引越通知	104
44. パーティーへの招待状	106
45. 礼状・返事	108
〈参考〉基本的副詞・接続詞類一覧	90

I. 予備知識

原稿用紙の使い方 ーたて書き原稿用紙の場合ー

本文
名前の次の行に
一字分あけて書
きはじめる
段落
一字下げる。ただ
し、かぎかつこで
はじまる場合は、
一まず目に入れて
もよい。
かぎかつこ「」
始めと終わりの向
きに注意し、一字
分とる。かつこ
() も一字分と
る。
文字をあとから書
き加えたい時二字
以上は「」を、一
字のみはくを使う。

題名
一行目に上を三、四
字分あけて書く。

名前
次の行に姓・名の
順で書く。姓・名
の間は一字あける
とよい。

注(題名の前後および名前の次に
一行あける場合もあるが、こ
こでは、作文練習なので、略
式であけなくてもよいとす
る)

東京タワーに登った。	夏休み、外国の友達と、東京タワーに登りました。	イ、よく見えました。	「あれ、東京にもあんなに大きな森があるね。」	と、友だちは、皇居(天皇陛下の住居)を指さしました。	イ、シスのように見えました。	東京タワーの高さは、三百三十三メートルです。	イ、一九五八年、芝公園内建いられたタワー	です。今イは東京のシンボルにな、ています。
------------	-------------------------	------------	------------------------	----------------------------	----------------	------------------------	----------------------	-----------------------

小さな「つ」「や」などは
一字分とり、ますの右上
にかく。

句読点「。」「、」は一字分
とり、ますの右上に書く。

行の最後に、かつこがき
た時は、最後のますに
いっしよに入れるか、ま
すの外に書く。

漢数字を使う。カタカナ
の長音には「ー」を使
い一字分とる。

行の最後に句読点がきた
時は、最後のますにいっ
しよに入れるか、ますの
外に書く。

—横書き原稿用紙の場合—

小さな「っ」「ゃ」は一字分とり、ますの右下に書く。

東京タワーに登って

神田 まなぶ

夏休みに外国の友だちと、東京タワーに登りました。その日はよく晴れていて、遠くまで

かぎっこ「」は、始めと終わりの向きに注意し、一字分とる。

行の最後に句読点、かつこがきた時は、最後の
のますにいっしょに入れる。または、ますの
外に書く。

「あれ、東京にもあんなに大きな森があるね。」
と友だちは、皇居（天皇陛下の住居）を指さ

・ かつこ () は一字分とる。

数字はアラビア数字で書きひとますに2字入れる。

東京タワーの高さは、333メートルで、1958年に建てられたに日本一のタワーにやうです

カタカナの長音「ー」は1字分とる。

数字の書き方

1307人

一	三	〇	七	人
千	五	百	人	

1987年

一九八七年
(西暦の場合)
昭和六十年
(日本の年号の場合)

55,000円

5 万 5 千 用

五
万
五
千
四

11月15日

	一		十
	一		一
	月		月
二	八	二	十
六	日	十	五
日		六	日
		日	

添削例

〈例 1〉

⑤ 上下入れかえ

⑥ S 上と下を入れかえる

⑦ つづける

⑧ つづける

⑨ 位置の移動

⑩ 位置をうつす

なうち^{いふしよ}に住みます。うちけは田舎の方がいい
 と思います。お金もたくさんかかりませんし
 大きい庭ももらえます。もし、海岸の近く
 ならも^くいいと思います。夏の^は時、庭で^水西瓜
 を^だわく^だて、^海の音をきいたり、たべたり最高
 だ^だと思います。冬^はの時、みな暖炉の前^でごはんを
 食^たべたり、話をしたり、楽しいでしょう。
 ④ ま^だ若いから、宝くじ^{が当たるのを待っているより}でまて^あいるなら、^{またういて}ぼた
 ないです^ね、やっぱ^り自分の力で^あ一千万円を
 つか^{つか}う^うと思^いいます。
 わくります。

いろいろと楽しい夢を持ちながらも最後にはしっかりした
 結論を出したことに感心しました。

添削のための記号

挿入

① < 一字を入れる場合

① { 二字以上の場合

剷除

② / 一字削除の場合

②——二字以上の削除の場合

(普通は二重線を用いるが作文添削の場合は元の文字が見やすいように単線を用いる)

上部への移動

③ 上の線まで上げる

下部への移動

④
字を下げる場所

段落

⑤ 行をかえて一ますあけて書く

もし一千万円あたら
江 佳 珍
もし一千万円あたら
で↑^③帰^②ア^①家族^④のみなに^⑤しらせ^⑥ます。そして
泥棒^⑦を防^⑧ぐため^⑨に、^⑩すぐ銀行^⑪へい^⑫って貯金^⑬を
します。定期^⑭の方が利息^⑮が^⑯高いとき^⑰きましたた
が定期^⑱にします。^⑲預金^⑳定期^㉑丰年^㉒を満期^㉓とたら
お金^㉔を持^㉕って、不動産屋^㉖さんへいき^㉗ます。
⑦ 好きなお家^㉘をか^㉙います。お家^㉚をか^㉛たら、
台湾^㉜の親^㉝せきや友^㉞達^㉟など^㊱日本^㊲に招^㊳待^㊴して、
み

構成が良く、意図がはっきりおかります。
 ①と②の所で
 行かえをしようと良くなるでしょう
 ③の所だけでも

いる。釣の為新しい所をさがして行く事も
 のしみ(A)釣の目的は魚を取る事だ。と
 かが人によって魚の取り方がちがう。魚を木
 決取りた人と、大きい魚を取りた人
 がい(B)私の立場は魚を取るの事が私の趣味で
 ない。釣に行つて自然の見ながら心静かにあ
 そぶ。いろんな事を忘れ、ストレスを解消し
 て、もっときれいな気分であつて家に戻り、イ
 つか私によつて一番いい事だと思ふ。

No.

20 × 20

〈例 3〉手紙1—友だちへ

山室さんへ

お元気ですか。 おかげさまで めたしは 元気に
すごしています。

日本へ来てから 八か月が すぎました。 毎日
学校へ行って 日本語を 勉強 ~~しました。~~ ^{しています}。 ~~とか。~~
日本語も 話せるようになって、 留学生活 にも
なれました。

(夏休 ~~み~~ 中、私は ~~どこ~~ ^{どこ} にも 行きませ ~~で~~ ^へ した ~~か。~~ ^{か。}
東京の夏は 北京より ~~とっ~~ ^{ずっと} も 暑いです。 毎日
気温は 34℃ ~~になりました。~~ ^{になります}。 夜も 同 ~~じ~~ ^じ です。 ~~わたし~~
~~は~~ 毎日 仕事を ~~しました。~~ ^{したり、} 時々 クラスメート ^と 一緒に、
映画を見に行っ ~~た。~~ ^か 中国の料理を ~~作り~~ ^{作りましたので。} 夏
休 ~~み~~ の 生活は 充実 ~~しました。~~ ^{していました。} 日本で ^の 留学生活 ~~も~~ ^{は、いろいろ}
かしいです。 ~~か。~~ ^{か。} でも おもしろいです。

来年の三月には 大学受験 がありますから、今
一生懸命 日本語を 勉強 ~~します。~~ ^{しています。}

来年の一月に 一か月ぐらい、 帰国 したいと思っ
ています。

お体 ~~を~~ ^を おだいじに ~~します。~~ ^{してください。}

九月 一 日

王 生

もうさわやかな秋になりました。先生はいかがですか。近頃お忙しい
でしょうか。

前週お手紙をうけとりました。早くお手紙を書いたほうが
です。今日まで書いては、本当に申し訳ありません。

さて夏休みには先生の紹介した本をよく読んで本当に
いい勉強になりました。日本二ヶ月間で先生は毎日親切に日本語が
日本の生活が正しく教えてくれます。私に日本の生活に早く
は慣れます。本当に心から感謝いたします。

いま新学期に入りました。忙しい勉強の生活が始まりました。来年
大学院に入るために正しい日本語を毎日勉強しています。もちろん
新学期で先生はいよいよよろしくお願いいたします。
お体を大切に。お元気で。

一九・九・一七

胡小清より

鈴木先生

II. 45のトピック(話題)

1. 自己紹介

I. 関連語句

国籍 年齢 生年月日 家族 職業 アルバイト 趣味 (～に)興味(がある) 目的
将来 夢 大学 大学院 専門学校 (修士/博士)課程 特技 性格 長所 短所
好奇心(が強い) さびしがりや ひとり暮らし(をする) 生活(する) 希望(する) 尊敬
(する) 心配(する) 自慢(する) 専攻(する) 受験(する) 進学(する) (～に)熱中
(する) おとなしい やさしい 我慢強い 明るい 積極的 楽天的 活発 まじめ
のんき 気短 陽気 引っ込み思案 無口 (～が)得意/苦手 生まれる (仕事に)つ
く やりぬく (会社に)勤める (大学院に)進む (～に～を)生かす (～に)慣れる
心がける はっきり(する) しっかり(する) のんびり(する)

II. 言い回し・文型

1. (自分の性格について言う)。

- a. 私は積極的な性格だと思います。
- b. 私はさびしがりやです。
- c. 私にはのんびりしたところがあると思います。
- d. 私の長所はいつも明るいことだと思います。
- e. 私はどちらかというと楽天的なほうだと思います。

2. ～こと／もの／の

- a. 私の趣味は写真をとることです。
- b. 私のきれいなものは納豆^{なとう}とへびです。
- c. 私の夢は世界一周旅行をすることです。

3. 〈動〉ことが（好き／得意／苦手）です

- a. 私は知らない町をのんびりと歩くことが好きです。
- b. 私は冷蔵庫の中に残っている材料で料理を作ることが得意です。
- c. 私は人前で話すのが苦手です。

4. ～のは～からです／～から、～

- a. 私が日本語を勉強しているのは、日本語を使う仕事につきたいからです。
- b. 私が日本へ来たのは、大学で日本の歴史を研究したかったからです。
- c. 近所に住んでいた日本人がとてもいい人だったから、私は日本が好きになったのです。

Ⅲ. 次のページの絵を見て、自分のことを答えてみましょう。また、下の質問にも答えてみましょう。

- 1. あなたは日本での生活にもう慣れましたか。
- 2. あなたはどうして日本へ来たのですか。
- 3. 将来、何をしたいと思っていますか。
- 4. あなたはどんな性格ですか。自分の長所や短所はどんなところだと思いますか。
- 5. 何かいつも心がけていることがありますか。（たとえば、授業で習った日本語はすぐ使ってみるようにしている、とか、人の悪口を言わないようにしている、など）

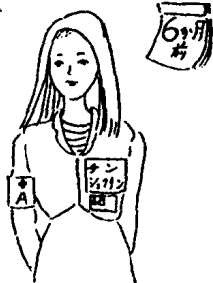
Ⅳ. 作文例

私は台湾から来た陳 貞です。今は埼玉県にある寮^{りょう}に住んでいます。外国人は私一人です。ですから、はじめのころは、言葉や食事のことなどでとても苦労^{くろう}しました。おふろに入る時もはずかしくていやでした。

でも、今はもうすっかり寮の生活にも慣れて、みんなと仲良くなりました。私は料理が得意なので、休みの日には、寮の友だちにごちそうします。すると、みんなとてもよろこんでくれます。私は好奇心が強くいろいろなことを体験してみたいと、いつも思っています。それで、以前から興味のあった日本へ来たのです。

今熱中していることは生け花です。次は、お茶をやってみたいと思っています。日本へ来る前は、貿易会社に勤めていました。日本語の勉強が終わって帰国したら、日本語や日本で学んだことをどんどん仕事に生かしたいと思っています。

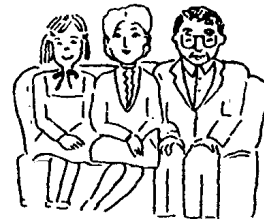
①私



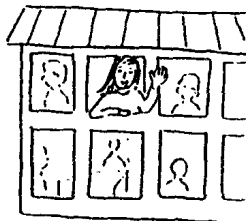
②日本に来る前



③家族



④住んでいる所



⑤好きなこと
得意なこと



⑥好きなこと
得意なこと



⑦趣味



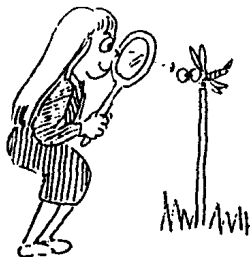
⑧趣味



⑨きらい
苦手



⑩性格 (好奇心)



⑪目的



⑫将来



V. ここで習った語句や文型をたくさん使って、あなたも書いてみましょう。(400字)

2. 電車の中

I. 関連語句

駅 ホーム 売店 放送 発車ベル (特急/急行/普通)電車 各駅停車 運転手
車しょう 車両^{しやうりょう} ～両目 車内 座席 シルバーシート あみだな つり皮 忘れ物
荷物 カバン かさ 窓 ドア 車内広告 禁煙^{きんえん} 冷房 暖房 せんぷう機 ヘッド
ホーン(ウォークマン) 終点 (始発/終)電車 通勤地ごく ラッシュアワー 苦しい
つかれる 足をふむ(ふまれる) こんでいる すいている ぶつかる 押す(押される)
ながめる のぞく すわる(すわれる) 居ねむり(をする) 乗りかえる 乗りすごす
(乗りこす) 乗りおくれる (席を)ゆずる

II. 言い回し・文型

1. 〈動〉 ています

- a. 山手線でかよっています。
- b. シルバーシートにすわっています。
- c. 新聞を読んでいます。

2. たまに〈動〉 ことがあります

- a. たまにすわれることがあります。
- b. たまに乗りすごすことがあります。
- c. たまに友達に会うことがあります。

3. ～まま～

- a. あの人は立ったままねています。
- b. 手袋をしたまま新聞を読んでいます。
- c. あみだなにカバンをおいたままです。

4. ～たり～たりします/です

- a. 学生は大きな声で笑ったり話したりします。
- b. 電車の中で飲んだり食べたりしてはいけません。
- c. 子供が立ったりすわったりしています。

5. 〈名〉 がなくても 〈動〉 ～

- a. 駅の名まえは放送がなくてもわかります。